



日本重症心身障害学会・学術集会 参加報告

3 B 病棟 石川礼子
3 B 病棟 梅本真奈

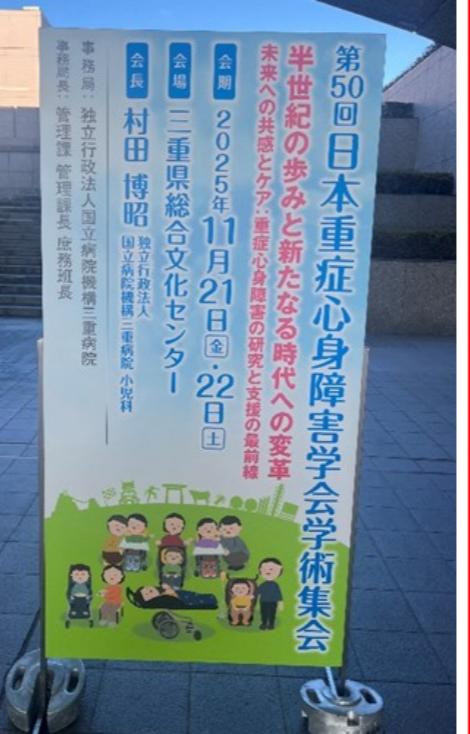
令和7年11月20日（金曜日）・21日（土曜日）の2日間、第50回日本重症心身障害学会学術集会が開催されました。当センターからは医師・看護師による発表が行われました。

全国各地の重症心身障害児・者に関わる他施設専門職の方の発表について、「N P P V装着時の皮膚トラブル」や「カニューレバンドによる皮膚状態悪化」の改善に向けて、看護ケア方法や「パーカッサーとカフアシストを用いた看護」など、普段の3 B 病棟でも実施しているものと直結したものであり、他施設の客観的視点からの情報を得ることができ、利用者への看護ケアを高めていくために意義深い発表を多く傾聴させて頂きました。

その中でも「教育」の発表が心に残りました。榎本万里奈氏は、「新卒看護師・既卒看護師へ利用者一人ひとり看護ケアについてマニュアル化されている。しかしその利用者一人ひとりの看護ケア

マニュアルだけでは長年療育の看護に携わる方と同じように小さな変化や訴えをキャッチすることは容易ではない。長年利用者と密な関わりを持つことで、利用者一人ひとりの看護ケアマニュアルにひと手間加えた、その看護師のオリジナルな看護ができる」などと述べており、利用者一人ひとりの看護ケアマニュアルを細かく見直し、新卒看護師・既卒看護師へ伝えていく重要性を指摘していました。

発表を傾聴しこれからの重症心身障害児・者施設で看護に関わる私たちにとって利用者のQOLを向上させるために非常に重要なだと感じました。



〒183-8553
東京都府中市武藏台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*
[http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/
fuchuryo/index.html](http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html)

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第576 発行日 令和6年12月31日

クリスマス特集



1 B 病棟 福祉職

12月17日（水曜日）1 B 病棟のクリスマス会は「プリコロハウス」の方に来ていただきました。

サックスとドラムの素敵な3人組の方たちでセンターでの演奏は初めてのことです。サンタ、トナカイ、ツリーのかわいい衣装に身を包み登場です。クリスマスソングや各国の曲、マツケンサンバⅡ、松田聖子の青い珊瑚礁など色々な曲を演奏してくださいました。

利用者の方は歌を口ずさんだり、身体を揺らしたり、手拍子を打つなど、どの方も笑顔で楽しそうな様子がうかがえました。ご家族の参加もあり、利用者と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



クリスマス特集

2 A病棟 福祉職

12月12日(金曜日)、今年のクリスマス会はサンタクロースの登場から始まりました。

質問に全て「メリークリスマス！」と答えるサンタさん。司会の通訳で遠くから来たことがわかります。

そしてサンタさんからのプレゼントは「クリスマス・コンサート」です。

みんなが大好きな宮野下子竜さんのマリンバで、クリスマスソングやお正月の歌までたっぷり聞かせていただきました。



穏やかにうつとりと聞いていたり、鈴やタンバリンをたたきながら音楽にのったりと、とても素敵なクリスマスを過ごしました。

いつまでもいつまでも聞いてみたい素敵な時間でした。

3 A病棟 福祉職

12月12日（金曜日）「Trinity Bloom」の皆様に来ていただきコンサートを行いました。演奏はパーカッション(MC担当も含む)、スチールパン、ピアノの3人からなる楽器演奏です。スチールパンという不思議な音色の楽器の紹介もしてもらいました。

リクエストをしていたクリスマスソングをボリュームのあるメドレーにしてもらったほか、馴染みのある「あなたのお名前は」「ジブリメドレー」などから「笑点」や「マツケンサンバ」まで楽しい曲一杯の演奏でした。聴く我々もおそろいのサンタ帽子をかぶり、鈴やマラカスを持って演奏を聴きました。リズムに合わせて頭を小さく振る人、馴染みのある曲に自然と笑顔になり楽しそうに笑っている人、職員の動きを見て微笑んでいる人、じっと真剣な表情で聴いている人。コンサートの雰囲気と音楽を楽しんでいる様子が見られました。

ピアノのメロディーにパーカッションの軽快なリズム、スチールパンの心地よい音色が重なり、素敵な演奏を楽しむことが出来ました。



2 C病棟 福祉職

昨年に続き今年も「ゴスペルコーラスグループ ウィスタリアーズ」さんに来院頂き、12月10日(水曜日)にゴスペルコンサートを行いました。10曲ほどのクリスマスソングを、曲に合わせた楽しいパフォーマンスと、12名の迫力ある歌声を披露して下さり、大変に楽しいコンサートになりました。

利用者も曲に合わせて、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりと、思いおもいに楽しまれておりました。

途中、茶色と白のリラックマがウクレレを持って乱入(ご紹介を頂き)？！ウイスタリアーズさんと「ビリーブ」「あわてんぼうのサンタクロース」の共演という演出？もあり、最後には利用者・職員一同で体を動かし、楽器を鳴らし、クリスマスの雰囲気を十分に味わうことができ、楽しい一時を過ごすことができました。

来年はどういうクリスマス会になるか？今から楽しみです！！



3 D病棟 福祉職

3Dクリスマス会では、「12月誕生会」で2名の方のお祝いと、フルートの浅尾真実さんとピアノの石井扶美代さんをお招きし「クリスマスコンサート」を行ないました。

誕生会では、30歳になった1名の方が記念にヘアメイクとドレスアップをして登場すると、みなさんから歓声が上がり、うれしそうにしていました。もう1名の方は、呼吸器のため自室に招待観劇のお二人に来てもらい、職員、ご両親と共に生演奏で盛大にお祝いをすることができました。

コンサートでは、クリスマスソングや懐かしい曲を含めた冬の歌メドレー、ディズニーの曲など、バラエティに富んだ曲目に、利用者のみなさんも表情良く聴き入っていました。

リズミカルな曲では、職員と一緒に楽器を鳴らし笑顔も多かったです。中学生の利用者も手足を動かしたり、手を叩いたりと先生と一緒に大喜びで参加をしています。最後は、参加者全員のハンドベルで「きよしこの夜」を演奏し、フルートとピアノ、ハンドベルの美しい音色に包まれながら、クリスマス会を終えることができました。

